

建設業社会貢献活動推進月間

23年度 全建地域貢献活動功労者表彰



千歳川を育む「こいのぼりフェス」の開催に技術面で協力

草野作工(株)は、青少年育成の一環として平成16年度から始めた「こいのぼりフェスティバル」で、千歳川を跨ぐ大規模な「こいのぼり」の掲



草野 貴友社長

建設業ふれあい活動建設業の啓蒙・イメージアップ活動

草野作工株式会社

揚に取り組み、活動を牽引してきた。

千歳川右岸に隣接する江別川防犯スノーショーンから対岸まで、百四十

「こいのぼりフェス」活動を牽引する。期間は四月十九日から五月十八日まで。準備には近隣の幼稚園も多数参加。地域と一体となってイベントを支えている。

草野作工(株)は、青少年育成の一環として平成16年度から始めた「こいのぼりフェスティバル」で、千歳川を跨ぐ大規模な「こいのぼり」の掲

(株)全国建設業協会(浅沼健一会長)が建設業社会貢献活動推進月間に合わせて顕彰する本年度の地域貢献活動功労者表彰を、草野作工(株)(江別)、萩原建設工業(株)(帯広)、宮坂建設工業(株)(同)など道内六社が受賞した。全建が実施する同月間は、社会貢献活動に取り組む建設業の姿を広く国民にアピールしようと、十八年度にスタート。これに合わせて環境美化活動、社会福祉活動や地域との交流、建設業のイメージアップに取り組む、顕著な成果を上げた会員、個人を表彰している。受賞した各社は、地元と密着した幅広い社会貢献活動が評価され、晴れの受賞に輝いた。表彰式は七月二十八日、東京で行われた。



防災意識を高めるため様々な工夫

宮坂建設工業(株)は平成五年から単独で、十五年に発生した十勝沖地震から住民参加



宮坂 寿文社長

防災支援活動

宮坂建設工業株式会社

型で防災訓練を実施。宮坂社長が本部長の災害対策本部を置き、テレビ会議システムで札幌支社と連絡。職員や資材を二十四時間体制で待機。

本社近隣にある帯広中央公園では、防災関連の機器、免震・耐震コーナーの展示、スライキヤッチャー(災害時空中撮影システム)の実演、地震体験車の試乗や無線式油圧ショベルの模擬運転などを実施。住民の防災意識の高揚に努めている。

地域住民も参加し防災訓練。期間は四月十九日から五月十八日まで。準備には近隣の幼稚園も多数参加。地域と一体となってイベントを支えている。



一流奏者に「究極」の謝恩コンサート

萩原建設工業(株)は平成元年から帯広由民文化ホールなどを会場に「究極の謝恩コン



萩原 一利社長

萩原建設工業株式会社

「サート」を開催している。入場は無料。一流の演奏家がモーツァルト作曲「ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲」、ドボナー二作曲「弦楽三重奏曲」、ブラームス作曲「ピアノ五重奏曲へ短調作品34」などの名曲を演奏する。

クラシックコンサートを無料開放。地域恒例のコンサートとして楽しみにしている住民も多く、来場者は一流奏者の演奏によるクラシック音楽の名曲を存分に堪能している。



花を通して地域からの理解促進を目指す

(株)花いっぱい運動は、遠別町花いっぱい実践協議会が主催し留萌開建などが後援する。「花いっ



瀬越 正己社長

環境美化・保全活動

株式会社 瀬越組

い運動」に積極的に参加している。地域住民の工事への理解を得ることと交流を深めることは、円滑な施工を図るためと良質な成果を得る最も重要なことと考える。地元の景観を明るくするために行われている。同運動に花の苗を寄贈。

苗植えや定植など積極的な支援を続けており、地域に密着したその活動は、遠別町から感謝状を受けるなど、地域に大きく貢献している。

花いっぱい運動で地域と交流。期間は四月十九日から五月十八日まで。準備には近隣の幼稚園も多数参加。地域と一体となってイベントを支えている。



地元祭りに参加

茅沼建設工業(株)は、地元神社の夏祭りに会社挙げて参加し、祭典を盛り上げている。毎年、社屋前に出店を出し



三宅 節雄社長

茅沼建設工業株式会社

料理やお菓子等を無料で振る舞っている。国道や道の清掃、神社の鳥居の清掃など環境美化にも積極的に取り組んでいる。

祭り参加、清掃、雪像制作協力も。昨年七月二十九日の豪雨災害における応急復旧活動に対し、小樽開建、泊村、神恵内村から感謝状を授与。共和町富交差点での交通安全を祈願した高さ七尺の大きな雪像「安全太郎」の制作協力に対し、共和町から感謝状が贈られた。